

千葉大学大学院園芸学研究科 教育課程編成・実施の方針

(博士前期課程)

「自由・自立の精神」を堅持するために

- 「園芸とランドスケープ」に関わる高度専門職業人としての基本的な理念および倫理を理解するために、環境園芸学および職業倫理・研究者倫理に関する科目を基盤科目としておき、必修とする。園芸科学やランドスケープ学に関わる専門的な演習科目、特別研究科目を通して、高度専門職業人としての倫理や基本的素養を育み、科学的な方法論を習得させる。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために

- 国際性とコミュニケーション能力を育成するために、基盤科目として、アカデミックライティング科目や国際関係科目を選択必修科目として置く。また、専門科目として、演習科目や研究科目を置いて専門的・応用的なコミュニケーション能力を身につける。

「専門的な知識・技術・技能」を修得するために

- 専門的な知識・技術・技能を育むために、コース毎に必修科目、選択必修科目、選択科目を置く。

(ア) 専門必修科目：コースの共通的専門科目を必修とする。専門性を見取り図を学生に示し、学生の研究や学習の学問的な位置付けや社会における位置付けを理解させ、自身の研究の発展や科学技術マネジメント能力や政策立案能力を涵養する。

(イ) 専門選択必修科目：専門カリキュラムの核であり、各専門分野の高度な知見と最新の方法論について講義する。コース毎に最低限の必要修得単位数を設定し、バランスのとれた履修を保証する。

(ウ) 専門選択科目：2つの観点から設定する。第一の観点は、他大学からの進学者、大学院で新たな領域への展開を考える学生に、上記専門選択必修科目の基礎となる専門知識を提供することである。第二の観点は、自らの専門分野の裾野を広げ、広い視野で問題の発掘や解決に臨む知識や能力を身につけるために、関連する様々な学問分野の中から幅広く科目を選択して履修する。

「高い問題解決能力」を育成するために

- 高い問題解決能力を育成するために演習科目を置き、特別研究によって探求的

能力を身につける。

「学修成果の厳格な評価」のために

- 学修成果については、事前にシラバス等で提示する各授業目標への到達度によって、厳格かつ公正な評価を行う。授業科目の特性に応じて、以下のような適切な評価方法によって成績評価を行う。
- 講義科目では、試験、レポート、リアクションペーパー等でその達成度を評価する。
- 実験・実習・演習科目では、試験、レポート、口頭発表、実技等でその達成度を評価する。
- 学位論文は、審査基準と審査方法をあらかじめ明示し、それに基づき審査体制を整備したうえで、論文審査および最終試験を厳格かつ公正に行う。